

中野駅西側南北通路・橋上駅舎の整備について

中野駅西側南北通路・橋上駅舎の整備について、中野区と東日本旅客鉄道（株）（以下「JR」という。）とで締結した基本協定に基づき平成 26、27 年度に基本設計を実施した。基本設計の内容を踏まえた今後の整備の方向性について報告する。

1. 基本設計の成果について

- ・道路一体建物（南北通路・橋上駅舎・駅ビル）について、様々な施工条件（軟弱地盤、夜間作業となる時間的制約など）から、工程が長期となり、工事費が増えることが明らかとなった。
- ・JR は、基本設計作業の結果、全体工事費が上昇したため、工事費の縮減と工程の短縮をめざし駅ビル計画内容の見直しを検討している。

2. 今後の予定

- 道路一体建物（南北通路・橋上駅舎・駅ビル）整備に係る工期短縮協議
 - ・基本設計内容・工事工程を検証するとともに、JR の駅ビル計画内容見直しの検討を踏まえ、JR と工期短縮に向けた協議を行う。
- 公共基盤整備の再検討及び関係機関協議
 - ・道路一体建物と密接に関係する新北口駅前広場・地下駐車場等の公共基盤整備について、区役所・サンプラザ地区再整備実施方針に掲げる施設機能を踏まえながら再検討し、関係機関と協議を行う。
- 実施設計着手に向けた協議
 - ・上述の検討・協議を通じ新北口駅前広場及び地下駐車場の形状・配置を定め、南北通路・橋上駅舎の実実施設計着手に向けた JR との協議を進める。

3. 中野駅西側南北通路・橋上駅舎に係る基本設計の概要

1) 道路一体建物（南北通路・橋上駅舎・駅ビル）の計画概要

建築面積	6,253 m ²
延べ面積	20,712 m ²
構造	S 造
階数	地下 1 階、地上 5 階
建物高さ	29.03m
建物用途	2 階 駅舎及び駅ビル店舗 3～5 階 駅ビル店舗など

※ 配置図・平面図、断面図については別紙のとおり

2) 工程について

- ・工事着手後 駅・自由通路の開業まで 10年6か月
駅ビルの開業まで 12年5か月

3) 工事費について

- ・中野区負担額 約 119 億円

○費用負担の考え方

- ・中野駅西側南北通路、橋上駅舎については、中野区の負担
- ・駅ビル事業については、鉄道事業者が負担
- ・共通部分については、事業区分の考え方にに基づき按分により負担

○中野区負担分に対する国庫補助金等の想定

- ・南北通路

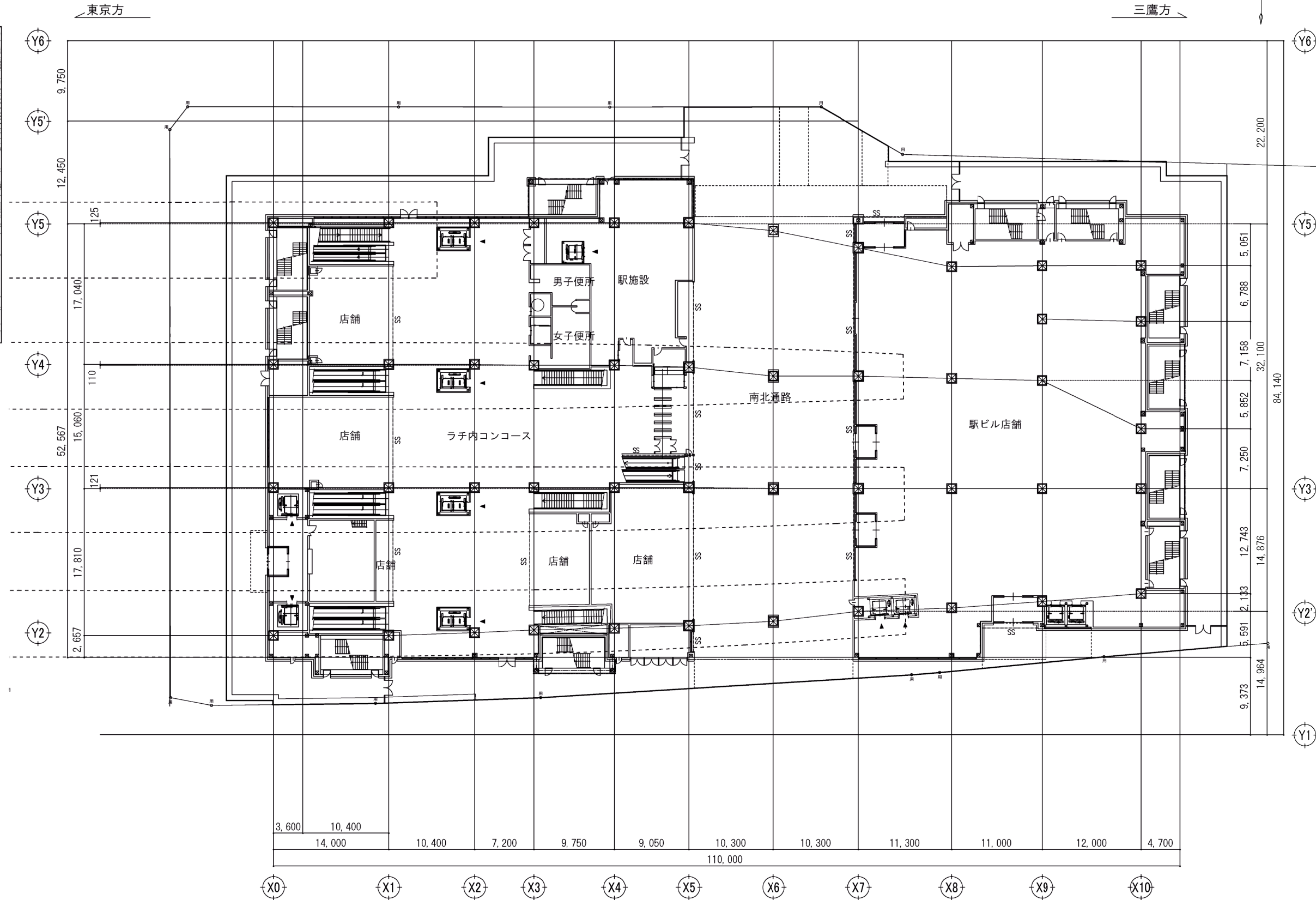
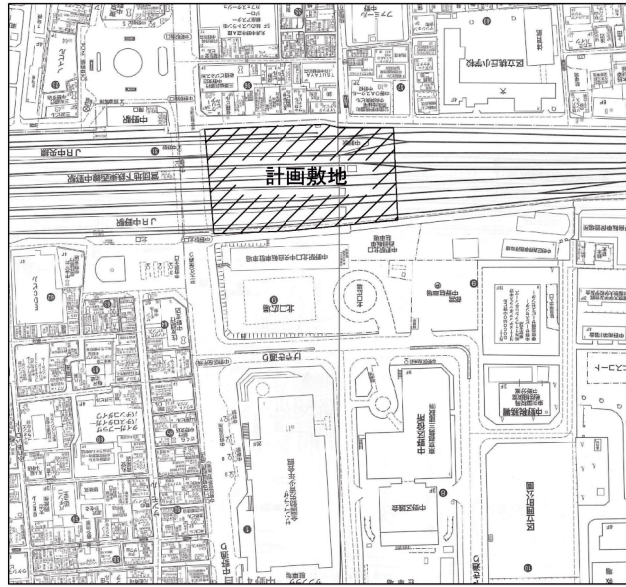
社会資本整備総合交付金（基幹事業 交通結節点改善事業）55%
都市計画交付金（都市計画道路）対象事業費から国庫補助金を除く 25%
他は財調対象

- ・橋上駅舎

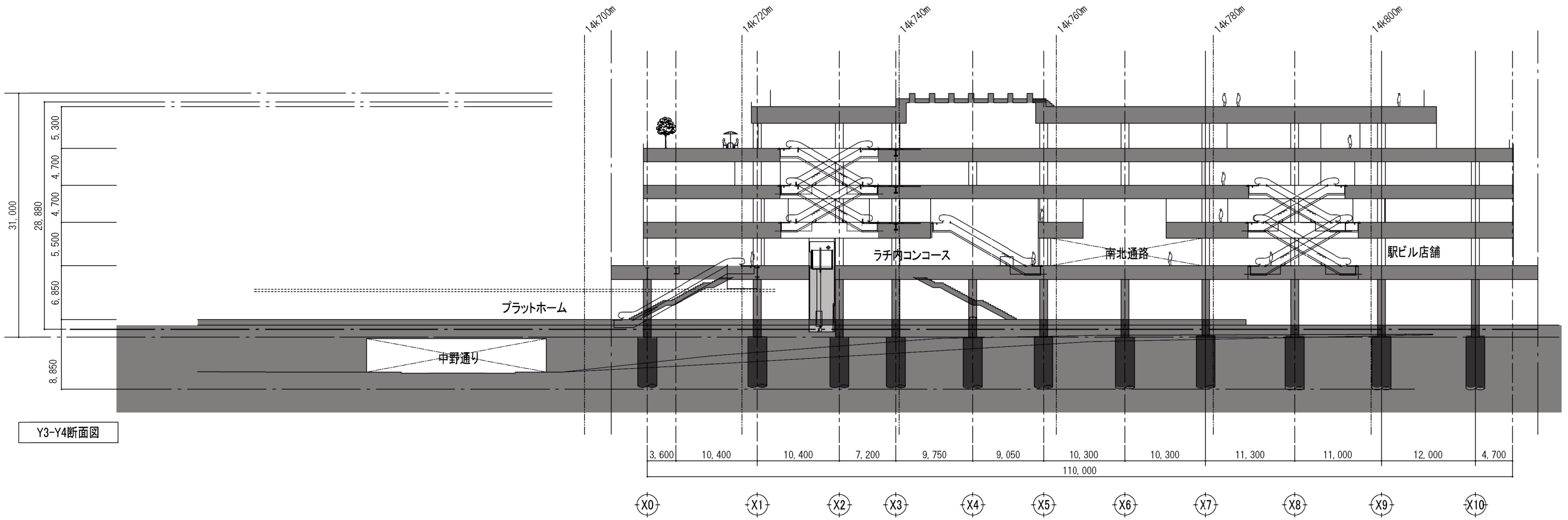
社会資本整備総合交付金（都市・地域総合交通戦略推進事業）1/3
他は財調対象



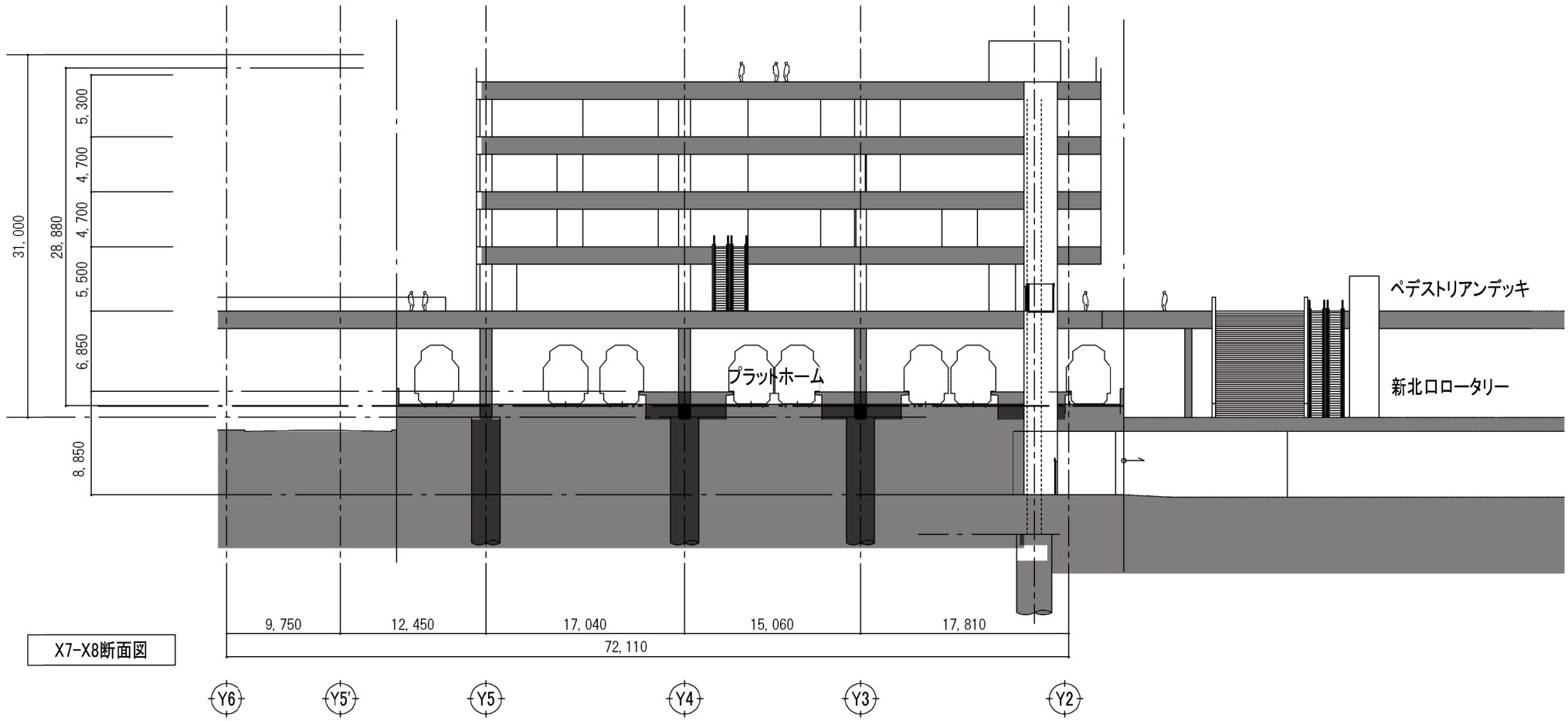
位置図



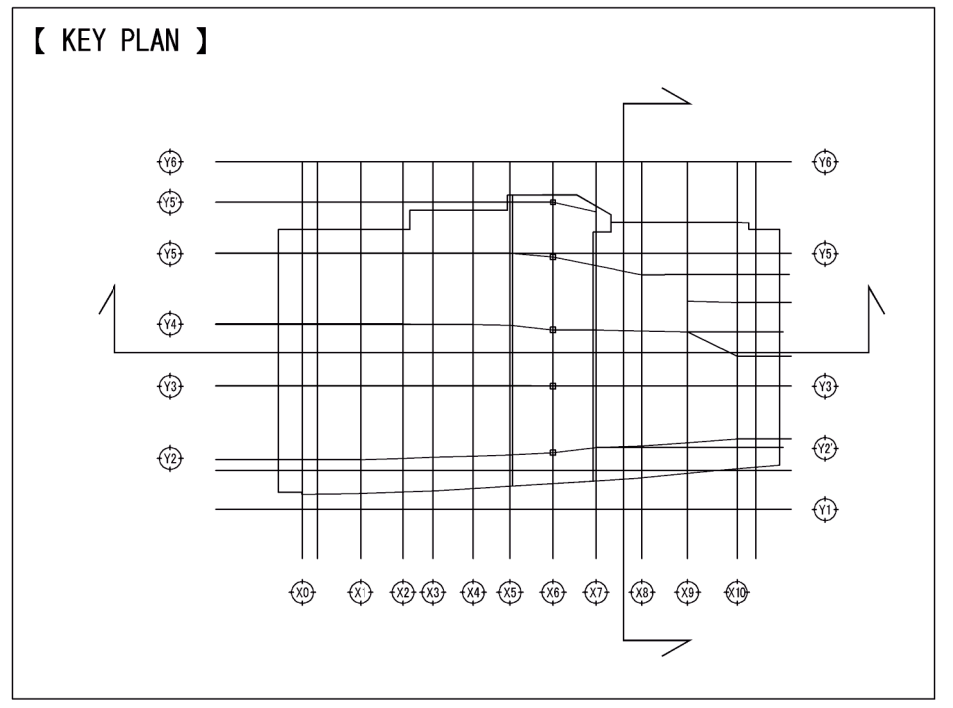
2階平面図 S=1/500 (A3) S=1/250 (A1)



Y3-Y4断面図



X7-X8断面図



【 KEY PLAN 】